

市町村名	北栄町	組織名	下神地区水田生産組合
------	-----	-----	------------

1 地区の範囲
東伯郡北栄町下神地区

2 地区の概要

水田面積 21.8ha	主な水田栽培作目 水稻・麦	農家数78戸
認定農業者数 3経営体	人・農地プランの中心となる経営体数	2経営体

3 組織化及び集積率（経営、機械の共同利用及び作業受託）の目標

【項目】		【現状】	【目標】 27年度
組織の概要	設立時期 (規約等の制定日)	平成11年9月21日	達成
	組織形態 (該当形態に○を記入)	・未組織 ・作業受託型 ・共同利用型 ・協業経営型	・共同利用型・作業受託型 ・協業経営型
	構成農家数	78戸	78戸
農地の集積	集積面積 A	18.3ha	19.4ha
	対象水田面積 B	20.6ha	20.6ha
	集積率 A/B	88.8%	94.2%
世代交代への取組		オペレーター60歳代2名、 40歳代1名、30歳代1名	新たに40歳代1名を加える予定。 各種研修を通じ、増員予定
新規就農者の活動参画		*****	*****

注1) 目標は、事業実施最終年度とする。

2) 設立時期の目標欄は、ビジョン作成時に組織が設立されていないときのみ記載すること。

3) 集積面積の詳細は、別表「集積目標（実績）一覧」により作成。

4) 集積率の目標は、50%超が採択要件。

5) 集積率の目標は、原則として現状よりも高い数値を設定すること。

6) 集積率の目標値を現状より高い数値に設定することが困難な場合、構成農家数の増、世代交代への取組、新規就農者の活動参画のいずれかでも可。ただし、世代交代への取組又は新規就農者の活動参画の欄に現状及び目標を記載すること。

I 集落営農に対する基本方針（自由に記載）

【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】					
1 担い手の明確化及び水田利用集積目標 当組合は、平成 11 年度に大区画ほ場整備事業施工に当たり、平成 11 年 9 月 21 日に集落営農組織を立ち上げました。 当地区も農業従事者の高齢化により若手後継者が担い手となるも、平日は勤め人が多く週末を除く作業員の確保が困難になってきています。深刻化する地域農業情勢を直視し、事業地区内にある水田耕作者全員の賛同を得て、オペレーターを中心とする「儲かる農業」、「環境に配慮する農業」を目標に現在に至っています。 今後は、担い手となるオペレーターが生き甲斐を持って農業に従事することができる農業環境と諸条件の整備に取り組みます。 また、未集積の 2.5ha は、小規模な区画となっておりますが、その中で比較的大きいほ場の 1.1ha の作業受託の検討を行い、集落全体で利用集積を図ることを目指します。					
2 水田作付計画、生産調整の方針・具体策 作付計画は、毎年通常総会で議決を経て稲・麦作を中心にしてブロックローテーションによる集団転作を行っています。 稲作については、早生品種のヒトメボレとコシヒカリを取り入れ、今年度よりきぬむすめの作付けを行います。 また、刈取りを適期に行い、品質向上と労力調整、併せて機械の効率利用を図っています。さらに管理面においては、JA 農業改良普及所の指導のもと、施肥及び減農薬に努め収量の増大を目指します。 転作については、麦のしゅんれいを 4.25ha、飼料米の日本晴を 1.2ha 作付けを行います。水稻同様に品質管理等を徹底することで、生産性の向上、収量の増大を図っていききたいと考えます。					
3 農業用機械施設の効率利用 当組合が所有する機械は、トラクター 48ps 1 台、田植え機 6 条植 1 台、コンバイン 5 条刈 1 台です。格納庫は木造トタン葺き平屋建て 80 m ² です。 トラクター 1 台を中心に組合員の所有する機械（20～30ps）も複数台活用しながら耕うん、代かき作業を行っていますが効率が悪く、集積ほ場の適期作業ができていないのが現状です。変形した区画・ほ場がたくさんあり、複数の 50ps 規模の機械を適期に、効率的に使うことが今後の規模拡大・営農継続には欠かせないと考えます。 このような状況から、今回 50ps のトラクター、代かき用のサイバーハロー 386cm 幅、ブロードキャスターの新規導入により個人所有の機械を約 30%減らし、作業効率を高め、適期作業によるさらなる収益向上に努めたいと考えます。					
4 世代交代、組織の後継者育成に関する方針 現在、オペレーターは 60 歳代 2 名、40 歳代 1 名、30 歳代 1 名です。今年度後半に 40 歳代 1 名を加える予定です。 新規オペレーターには農業機械士養成研修及び技能検定の受講をしてもらい、安全な作業が出来るよう考えている。今後もオペレーターの育成には力を入れていく予定です。					
5 経営多角化の方針、具体策 作付け品目は、今までと同様に水稻、麦の複数品目の作付けにより収益性の向上を図っていききたいと考えています。					

II 農業用機械施設の整備方針

1 機械施設の整備計画

機械施設名	規格能力	台数等	金額（円）	導入予定年月	本事業による導入機械に○
トラクター	50ps	1 台	6,838,000	26 年 10 月	○
ハロー	386cm 幅	1 台	1,668,700	26 年 10 月	○
ブロードキャスター	400ℓ	1 台	528,800	26 年 10 月	○